取扱説明書	RN−A024−HLA <RTS−330GASH−L> RN−A024−HRA <RTS−330GASH−R>	1676884 1678883	13011

家庭用

ガステーブル

天ぷら油過熱防止機能付

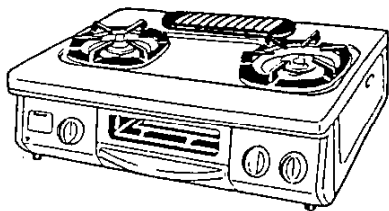
取扱説明書

保証書付

品名 RN-A024-HLA
機器コード 1676884
RN-A024-HRA
機器コード 1678883

■形式の呼び RTS-330GASH-L
RTS-330GASH-R

もくじ	ページ

よく読んで
安全に正しく
お使いください。

ご愛用の皆様へ
このたびはガステーブルをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
●ご使用の前にこの取扱説明書を最初から最後までよくお読みいただき安全に正しくお使いください。
●この取扱説明書はP22が保証書になっています。内容をよくご確認のうえ、保証書とともに大切に保管してください。
●幼いお子様にはさわらせないでください。
●この製品は家庭用です。業務用のような使いかたをされますと著しく寿命が縮まります。
●この製品は国内専用です。海外では使用できません。
●取扱説明書を紛失した場合は、お買い上げの販売店またはもよりの東京ガスにて再購入してください。

TOKYO GAS

取扱説明書	RN−A024−HLA <RTS−330GASH−L>	1 6 7	6 8 8 4	13021
	RN−A024−HRA <RTS−330GASH−R>	1 6 7	8 8 8 3	

1 安全上のご注意 必ずお守りください

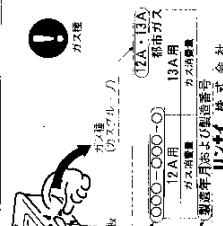
〈安全に正しくお使いいただくために〉
この取扱説明書および製品への表示では製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。

- 一般的な危険・警告・注意
- 必ず行う
- 火気厳禁
- 接触禁止
- 一般的な禁止
- 分解禁止

特に注意していただきたいこと、安全のために必ずお守りください。

⚠危険

■ガス漏れに気づいたら絶対に火をつけたり、電気器具のスイッチの「入・切」、電源プラグの抜き差し、周辺の電話を使用しない
炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。
（火気厳禁）

■ガス漏れに気づいたらすぐに使用を中止する
①すぐに使用を中止しガス栓を閉める。
②窓や戸を開けガスを外へ出す。
③もよりのガス事業者（東京ガス）へ連絡する。
①消火（止）の位置 → ②ガス栓を閉める
（使用禁止）

⚠警告

■必ず銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）を使用する
供給ガスと一致していない場合、そのまま使用すると不完全燃焼により、一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどしたりすることがあります。
供給ガスがわからない場合はお買い求めの販売店、またはもよりの東京ガスに問い合わせてください。
※転居されたときも、供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを確認してください。
（ガス種）

⚠警告

■設置するときは可燃物との距離を確実に離す
距離が近いと火災の原因になります。（火災予防条例で定められていますので、必ず守ってください。）
可燃物との距離が守れない場合は必ず防熱板を取付けてください。（P9参照）
また表面がステンレス板やタイルの場合でも内部が可燃性の場合は必ず防熱板を取付けてください。

■設置後機器の周囲を改装する場合も可燃物との距離を確実に離す

■機器の下に新聞紙やビニールシートなど可燃物を敷かない また周辺に可燃物を置いたり可燃性ガスを近くで使用しない、置かない
引火して火災・爆発をおこすことがあります。
カーテンなど燃えやすいものを近づけたり、ふきん、スプレー缶、ベンジンなどを近くに置かないでください。
（禁止）

■火をつけたまま、その場を離れたり、就寝・外出をしない
調理中のものが異常過熱し火災の原因となります。
揚げもの調理をしているときは離れないでください。
離れるときは必ず消火してください。
（禁止）

■地震、火災、または使用中に異常を感じたときはすぐに使用を中止する
あわてず消火しガス栓を閉める。「故障かな？と思ったら」（P20）を参照ください。
①消火（止）の位置 → ②ガス栓を閉める
（ガス栓を閉める）

■内径9.5mmφのガス用ゴム管（ソフトコード）以外は使わない、ひび割れたゴム管、古いゴム管は使わない
ガス漏れの原因となります。
ビニール管は絶対に使わないでください。
ときどき点検して古くなった場合は取り替えてください。
ビニール管
（禁止）

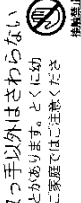
■ゴム管はホースエンドおよびガス栓の赤線まで確実に差し込みゴム管止めで止める
ゴム管が抜け、ガス中毒やガス爆発の原因になります。
赤線 ホースエンド ゴム管 ゴム管止め
（赤線まで差し込む）

■ガスコードを使用する場合は、器具用スリムプラグおよびガスコードの取扱説明書に従って接続する
間違った接続はガス漏れの原因になります。
ホースエンド 器具用スリムプラグ 赤線 ガスコード
（確認）

■ゴム管は機器に触れたり、下を通さない、またグリル排気口や炎に近づけない
使用時は周囲が高温になりゴム管がとけてガス漏れを起こすことがあります。
（禁止）

■ゴム管の継ぎたし、二又分岐はしない
ガス漏れや使用誤りなどで危険な場合があります。
（禁止）

3 安全上のご注意 必ずお守りください

⚠警告

■グリル排気口をふさがない
グリル排気口の上をなべ・アルミはく・ふきんなどでふさぐと異常過熱し、不完全燃焼や火災の原因になります。
禁止

■使用後は消火を確認しガス栓を閉める
消し忘れによる火災の原因になります。特にグリル使用時は注意してください。
ガス栓を閉める

■チャオバーナー側を壁側に設置しない
壁側の火災を防止するため標準バーナー側を壁面になるように設置してください。
禁止

■お手入れが必要なところ以外は絶対に分解したり修理・改造は行わない
ガス漏れや故障の原因になります。
分解禁止

⚠注意

■グリル焼網の上や下にアルミはくを敷かない
アルミはくの上に脂がたまり発火する原因になります。

禁止

■魚の裏返しや取り出し時などは、グリルとびらガラスやグリルとびら上端に触れない
手や腕が触れるとやけどをすることがあります。

接触禁止

■グリル水入れ皿の出し入れはゆっくり確実に
水平にゆっくり出し入れしてください。グリルとびらを持ち上げたまま引き出すと途中で止まらずに落下し、お湯がこぼれてやけどをすることがあります。
ゆっくり確実に

■グリル水入れ皿には必ず水（約200mℓ）を入れて使う　また、たまった脂は取り除く
水がない場合はたまった脂が過熱されて発火することがあります。
続けて使用する場合もそのつど脂を取り除き水を入れてください。なお水以外のものは入れないでください。
そのつど水を入れる

■グリル排気口をのぞきこまない　またなべの取っ手をグリル排気口に向けない
グリル使用時は排気口から高温の排気がでます。やけどをしたり、取っ手をこがす原因になります。
禁止

■グリルとびらガラスに水をかけない　衝撃を加えない　傷をつけない
ガラスが割れてけが、やけどの原因になります。
また、とびらが変形したり、閉まらなくなります。
禁止

4

⚠注意

■グリル使用前にグリル庫内に食品くずやふきんなどがないことを確認する
食品くずやふきんが燃えることがあります。
確認

■グリル水入れ皿の持ち運びはていねいに
使用中・使用直後はグリル水入れ皿の水は高温になっていますので、こぼすとやけどをする原因になります。
禁止

■グリル水入れ皿だけを持って本体より取り外さない
グリルとびらが落下し、けがや やけどをすることがあります。必ずグリルとびら取っ手を持って取り外してください。
禁止

■コンロ・グリル使用中はバーナー付近や排気口に体の一部や衣服を近づけない
炎や熱で衣服に燃え移ったり、やけどの原因になります。
禁止

■グリルとびらに重いものをのせたり、強い力を加えない
グリルとびらがはずれ、けがや機器破損の原因になります。
禁止

■使用中、使用直後は器具栓つまみ、グリルとびら取っ手以外はさわらない
やけどをすることがあります。とくに幼いお子様がいるご家庭ではご注意ください。
接触禁止

■棚の下など落下物の危険のある所に機器を設置しない
機器の上に落ちた物が燃え火災の原因になります。
禁止

■強い風の吹込む場所に機器を設置しない
機器内部の焼損や安全装置が正しく作動しないなどの原因になります。また点火不良の原因になります。
禁止

■アルミはく製しる受け皿を使用しない
炎が接触し異常過熱や不完全燃焼の原因になります。
また点火不良や途中消火の原因になります。
禁止

■不安定な場所に設置しない
機器が傾いてなべなどがすべり落ち、やけどやけがをする原因になります。
禁止

■衣類の乾燥や練炭の火起こしなど調理以外の用途に使用しない
異常過熱し火災や機器焼損の原因になります。
禁止

■コンロをおおうような鉄板などは使用しない
不完全燃焼や異常過熱し火災や機器焼損の原因になります。
直径34cm以上のなべは使用しないでください。
禁止

5 安全上のご注意 必ずお守りください

⚠注意

■ごとくをはずしてなべなどを直接コンロに置いて使用しない
不完全燃焼や機器焼損の原因になります。
禁止

■車両・船舶では使用しない
使用中に機器が傾いたりして、火災ややけどをする原因になります。
禁止

■使用中は換気をする
一酸化炭素中毒の原因になります。
ただし、自然排気式給湯器およびふろ釜を使用している場合は換気扇を回さないで窓をあけて、換気をしてください。換気扇を回すと排気ガスが逆流することがあります。
換気扇を回す 窓をあける

■しる受け皿はバーナーキャップにのせたり斜めにしてセットしない
バーナーの炎がしる受け皿の下にもぐり込み火災や機器焼損の原因になります。
禁止

■点火するときはバーナー付近に顔などを近づけない
炎や熱でやけどをすることがあります。
禁止

■やかん、なべなどの大きさに合わせて火力を調節する
火力が強いとやかんやなべなどの取っ手が焼損したり、手に触れるとやけどをする原因になります。
なべなどの大きさに合わせ火力調節

■バーナーキャップを水洗いしたときは水気をじゅうぶん切ってからセットする
炎口が詰まったまま使用すると異常燃焼の原因になります。
水気を切る

■機器本体内部をお手入れする場合、各部品の突起物などに注意する
強く当たった場合、手などにけがをする場合があります。
必ず手袋をしてお手入れする

■幼いお子様に触れさせない、使わせない
やけど・けがをする恐れがあります。
禁止

■指定以外の補助具は使用しない
不完全燃焼や異常過熱により火災や機器焼損の原因になります。
禁止

6

天ぷら油過熱防止機能付バーナーについて

揚げもの調理で、消し忘れなどによる調理油の異常過熱を防止する機能です。温度センサーでなべ底の温度を監視し、油が自然発火温度に達する前に自動的にガスを止めます。

※天ぷら油過熱防止機能がついているバーナーは右図のように前面パネルに**揚げもの用**と表示してあり、トッププレート上面には（揚げもの用）の表示がしてあります。

チャオバーナー（天ぷら油過熱防止機能付） 温度センサー 揚げもの用

⚠注意

■揚げもの調理されるときは、必ずチャオバーナー（天ぷら油過熱防止機能付）を使用する
確認

⚠警告

■チャオバーナー（天ぷら油過熱防止機能付）で油料理をするときは、耐熱ガラス容器・土なべなど熱が伝わりにくいものは使用しない
調理油が発火することがあります。

耐熱ガラス容器　土なべ
油料理禁止

■温度センサーの上面となべ底が密着していないときは使用しない
そのまま使用すると調理油の量に関係なく発火することがあります。
なべ　なべ底が凸凹　異物が付着　傾き　すきま　温度センサー
禁止

■チャオバーナー（天ぷら油過熱防止機能付）で使用する調理油の量は200mℓ以上で行う
調理油の量がはじめから少なかったり、減ってきたりすると発火することがあります。
調理油の量200mℓ以上　調理油　密着

⚠注意

■温度センサーは上下にスムーズに動くことを確認する
なべ底と密着しなくなり調理油が発火する場合があります。密着しない場合は、点検・修理を依頼してください。
また、動きが悪いとなべなどが傾き、お湯などがこぼれやけどをする原因にもなります。
上下動を確認　温度センサー

■温度センサーに強いショックを加えたりキズをつけない
なべ底に温度センサーが密着しなくなり調理油が発火する場合があります。
禁止

■チャオバーナー（天ぷら油過熱防止機能付）では、中華ごとく（別売）を使用しない
温度センサーが密着しなくなり、調理油が発火する場合があります。
禁止

7 特長

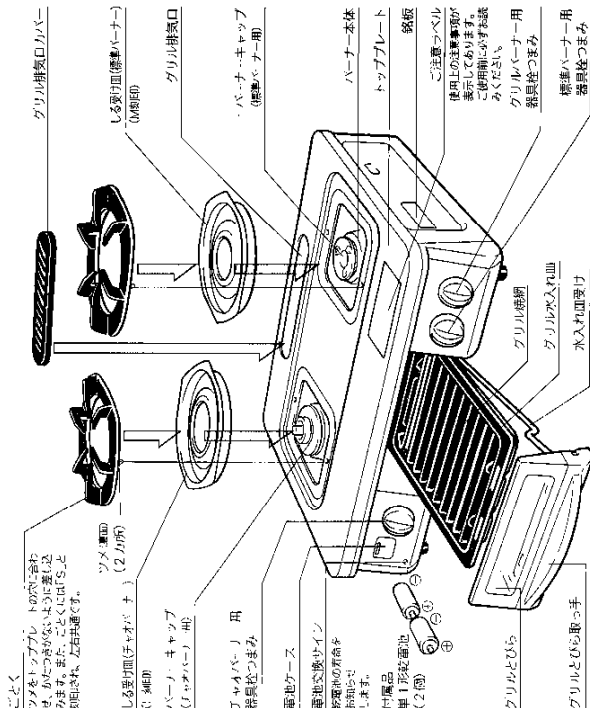
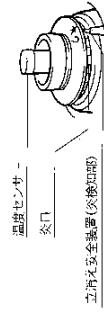
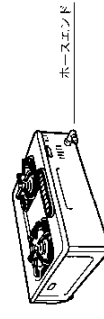
立消え安全装置
煮こぼれなどで火が消えると、ガスを自動的に止めます。

天ぷら油過熱防止機能
天ぷら・フライなどの揚げもの調理で、消し忘れ等による調理油の異常過熱を防止します。(チャオバーナー)

グリルとびら

グリルとびらを引き出すとグリルとびらが下がり、魚の裏返し・取り出しがカンタン。また、グリルとびらがワンタッチで脱着でき、お手入れがしやすくなりました。

各部のなまえ 8

図のように正しくセットしてください。
図はRN-A024-HLAです。RN-A024-HRAはチャオバーナーと標準バーナーが左右逆になっています。

9 機器の設置

設置前の準備と確認

- ●形式の呼び、ガス種、製造年月は、機器右側面の銘板に表示してあります。
- ●機器銘板のガス種(ガスグループ)と使用ガスが合っているか確認します。使用するガスの種類に合ったガス機器を必ず使用してください。
- ●輸送のため各部分にあて紙や包装部材がありますので全部取り除いてください。
- ●付属品の単1形乾電池(2個)が同梱されています。

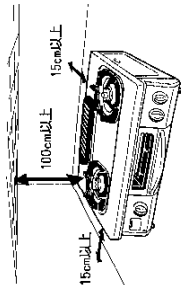
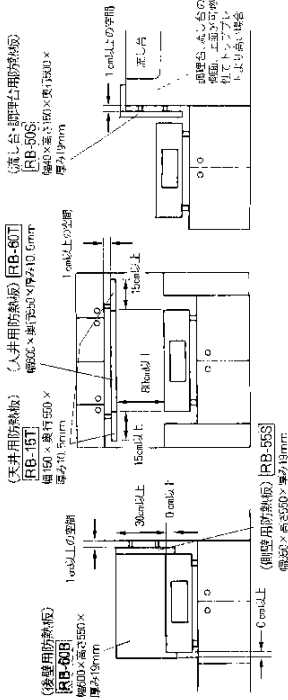
形式の呼び　ガスグループ　(12A・13A)　○○○-○○○-○　都市ガス　12A用 ガス消費量　13A用 ガス消費量　製造年月および製造番号　リンナイ株式会社　製造年月

設置場所および周囲の防火措置

■次のような場所に設置してください。
- ・強い風の吹き込まない場所
- ・丈夫で水平な場所　・落下物の危険のない場所
- ・付近にカーテンなど燃えやすいものがない場所
- ・機器の上に樹脂製の照明器具のない場所
- ・機器の上に湯沸器のない場所
- ・ガス栓が機器を使用した場合過熱されない場所

■周囲に可燃物(木製の壁、たななど)のある場合はつぎのようにしてください。
- ・トッププレートより上の側面および後面は15cm以上、上部はトッププレート上面より100cm以上離して設置します。

■可燃性の壁(モルタル、タイル、ステンレス板などを張りつけた可燃性の壁も含む)から15cm以上、また、上部はトッププレート上面から100cm以上離して設置できない場合は壁面に別売の防熱板を取り付けてから設置します。

⚠警告

■設置するときは可燃物との距離を確実に離す
■設置後機器の周囲を改装する場合も可燃物との距離を確実に離す

●側面専用防熱板

60cm幅のガス台に設置され側面が可燃性の壁の場合に機器本体に取りつけて使用します。

(お願い)
- ・防熱板については、お買い上げの販売店またはもより東京ガスにお問い合わせください。
- ・指定の防熱板以外は絶対に使用しないでください。

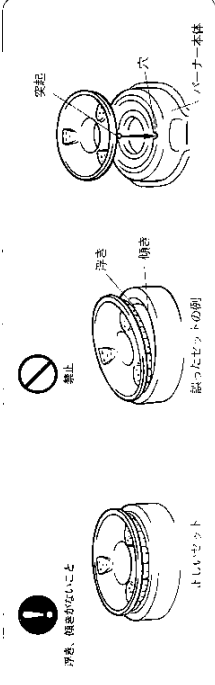
部品の取り付け

バーナーキャップ

セットのしかた

「マエ」刻印を手前にして、バーナーキャップの突起部をバーナー本体の穴部に正しくはめ込みます。バーナーキャップが浮いたり傾いたりしていると炎が不ぞろいになったり異常燃焼などが起こる場合もあります。

浮き、傾きがないこと　よいセット
禁止　浮き　傾き　誤ったセットの例
突起　穴　バーナー本体

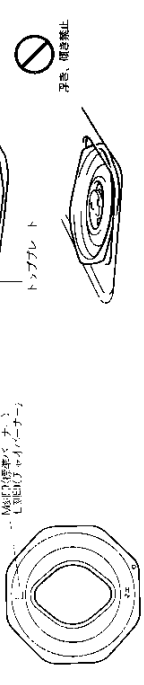
オク　マエ　チャオバーナー用バーナーキャップ(温度センサー側)
オク　マエ　標準バーナー用バーナーキャップ

(お願い) バーナーキャップは消耗品です。薄くなったり、変形して炎が不ぞろいになった場合は交換が必要ですのでもよりの販売店へご相談ください。

しる受け皿

セットのしかた

内側の穴の大きい方(L刻印)がチャオバーナー用、小さい方(M刻印)が標準バーナー用です。「マエ」の刻印を手前にしてセットしてください。

M刻印(標準バーナー)　L刻印(チャオバーナー)

しる受け皿　トッププレート　トッププレートに密着していること
浮き、傾き禁止

⚠注意

■しる受け皿はバーナーキャップにのせたり斜めにしてセットしない
バーナーの炎がしる受け皿の下にもぐり込み火災や機器焼損の原因になります。

■アルミはく製しる受け皿を使用しない
炎が接触し異常過熱や不完全燃焼の原因になります。
また、点火不良や途中消火の原因になります。

機器の設置

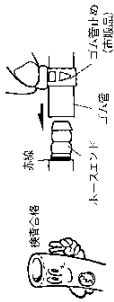
単1形乾電池2個(付属品)

電池ケースは機器前面の左側にあります。必ず、⊕と⊖を確認して、乾電池をセットし電池ケースをしっかりと押し込んでください。

お願い
・乾電池の寿命は、通常約1年を目安としてください。乾電池は必ず2個とも同種類の新品をご使用ください。
・付属の乾電池は工場出荷時に納められたもので、自然放電のため寿命が短い場合があります。

ゴム管の接続

ゴム管はガス用ゴム管(内径9.5mmφ、JISマーク入り)を用い、折れたりねじれたりしないようにして、できる限り短く(2m以下で適当にゆとりをもたせる)ガス栓と機器のホースエンドとを接続します。このときゴム管は赤線までしっかり差し込みゴム管止めで固定してください。また機器に触れないようにして接続します。

検査合格 赤線 ホースエンド ゴム管 ゴム管止め(市販品)

ガスコードなどでコンセント接続する場合

●ガス機器側の接続

機器のゴム管差し込み口をコンセント化してガスコードでコンセント接続する場合

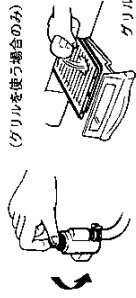
機器のゴム管差し込み口 赤線 ← 器具用スリムプラグ(別売品) ← 器具用ソケット ガスコード

上図のように、先ず別売の器具用スリムプラグを器具用プラグ梱包台紙の裏面に記載してある取扱説明に従って機器のゴム管差し込み口に取付け、次にガスコードの器具用ソケットを器具用スリムプラグに"カチッ"と音がするまで押し込みます。

●ガス栓側の接続

『ガスコンセント』は、ガスコードなどを取付けると自動的に開栓し、取外すと自動的に閉栓します。

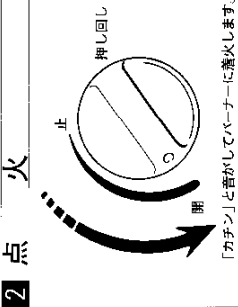
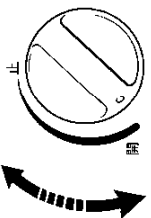
コンロ・グリルの使いかた

1 準備

※使用するバーナーの器具栓つまみを間違えないでください。

2 点火

「カチン」と音がしてバーナーに着火します。

●器具栓つまみを押しながらゆっくりと左方向に「カチン」と音がするまで回し、保持します。
●点火してもすぐには手を離さず安全装置がはたらくまで2～3秒間そのまま保持し、すべての炎口から炎が出ていることを確認します。

お願い 万一、点火しないときは器具栓つまみを一旦「止」の位置に戻し、周囲のガスがなくなってから再度点火操作をしてください。

3 火力調節

●器具栓つまみを回して火力調節します。(グリルは、「開」の位置でご使用ください。)
(コンロ)火力を絞りすぎると火が消えることがありますので注意してください。
(グリル)焼き具合は、グリル焼網の高低や焼時間などで調節してください。

⚠注意

■やかん、なべなどの大きさに合わせて火力を調節する
火力が強いとやかん、なべなどの取っ手が焼損したり、手に触れるとやけどをする原因になります。

4 消火

●器具栓つまみを「止」の位置まで戻します。
●必ず火が消えたことを確認してください。

お願い 幼いお子様のいたずらによる火災防止やガス漏れ防止のため、コンロから離れるときは念のためお部屋のガス栓を閉じてください。

13 コンロ・グリルの使いかた

コンロ

調理方法によるコンロバーナーの選びかた

■標準バーナー

焼きもの料理や炒めもの料理など、高温を必要とする調理、煮もの料理、冷凍食品の再加熱。

■チャオバーナー　天ぷら油過熱防止機能付

天ぷら、フライなど揚げもの調理、煮もの調理に使用します。

（お願い）天ぷら油過熱防止機能が付いたチャオバーナーは、設定温度になると自動消火します。このため焼きもの料理や炒めもの料理など高温を必要とする料理では、途中で消火してしまうことがあります。また冷凍食品（うどん・そばなどのなべ付の冷凍インスタント食品、カレー・シチューなどのなべごと凍らせた場合など）は、温度上昇が遅いため温度センサーが正しく機能しないことがありますので標準バーナーをお使いください。

チャオバーナー（天ぷら油過熱防止機能付）の使いかた

（調理油の量）

200mℓ以上で使用してください。少ないと発火することがあります。

なべ底と温度センサーの密着を確認

（なべの重さとのせかた）

なべの重さは調理物の重さを含め300g以上必要です。できるだけ底が平らな金属製のなべを使い、なべ底の中心が温度センサー頭部に密着するよう、正しくセットしてください。また、安定性の悪いなべは使用しないでください。

300g以上　なべ　平底　密着　温度センサー

（温度センサーに適したなべ）

なべなどの種類		油料理	その他料理（煮物など）	備考
鉄、アルミ製　なべ　天ぷらなべ　フライパン		○	○	調理油の量が200mℓ以下の場合発火することがあります。
ステンレス、ホーロー製　なべ　フライパン		×	○	調理油の量が200mℓ以上でも発火する場合があります。
中華なべ　打ち出しなべ		×	○	
耐熱ガラス容器　土なべ		×	○	油料理には適していません。発火する場合がありますので使用しないでください。
無水なべ　圧力なべ　多層なべ	無水料理	／	○	調理油の量が200mℓ以上でも発火する場合があります。無水料理において消火する場合がありますので標準バーナーをご使用ください。
	無水料理以外	×	○	
焼網		／	×	消火する場合があります。グリルを使用してください。

○：適する　×：適さない

⚠注意

■揚げもの調理されるときは、必ずチャオバーナー（天ぷら油過熱防止機能付）を使用してください

確認

⚠警告

■温度センサーの上面となべ底が密着していないときは使用しない

そのまま使用すると調理油の量に関係なく発火することがあります。

なべ底が凸凹　異物が付着　傾き　すきま　なべ　温度センサー　禁止

■チャオバーナー（天ぷら油過熱防止機能付）で使用する調理油の量は200mℓ以上で行う

調理油の量がはじめから少なかったり、減ってきたりすると発火することがあります。

200mℓ以上　調理油　密着　調理油の量200mℓ以上

グリル

■はじめて使用するときはから焼きが必要

工場出荷時の加工油を焼ききるためグリル水入れ皿に必ず水（200mℓ）を入れて、約15分から焼きをしてください。
この時、煙がでますが異常ではありません。

⚠注意

■グリル水入れ皿は必ず水（約200mℓ）を入れて使う　たまった脂は取り除く

水がない場合たまった脂が過熱されて発火することがあります。
続けて使用する場合もそのつど脂を取り除き水を入れてください。
なお水以外のものは入れないでください。

そのつど水を入れる

■グリル使用前にグリル庫内に食品くずやふきんなどがないことを確認する

食品くずやふきんが燃えることがあります。

確認

取扱説明書	RN-A024-HLA <RTS-330GASH-L>	1 6 7	6 8 8 4	13091
	RN-A024-HRA <RTS-330GASH-R>	1 6 7	8 8 8 3	

15 コンロ・グリルの使いかた

グリルで上手に焼くには

グリル焼網の高低

表裏で焼網の高さが変えられます。焼き物の大きさ、種類により高低を選んでください。

予熱が必要

あらかじめ3～4分予熱しておくときれいに焼きあがります。

つけ焼き・照り焼きなどのこげつきやすいもの、火の通りの悪い身の厚い魚などは、予熱せずに焼いてください。

魚の尾やヒレは？

こげやすい魚の尾やヒレはアルミはくで包んだり、厚めに塩をふりかけたりします。

アルミはく

グリル焼網に油

グリル焼網にサラダ油などを塗っておくと焼き上がり後材料が焼網に付着しにくく取り出しやすくなります。

グリル水入れ皿の出し入れ

正しいセットのしかた

●水入れ皿受けの凸部をグリル水入れ皿の長穴に入れてセットします。

グリル水入れ皿　長穴　前側印　凸部　グリルとびら　水入れ皿受け

引き出すとき

●グリルとびらを止まるところまでいっぱいに引き出すと、グリルとびらだけが下がり、焼き物の出し入れ、反転、確認が簡単に行えます。

グリルとびら

取り出したり持ち運ぶとき

（正しい持ち方）

●グリル水入れ皿を取り出すときは、グリルとびらを止まるところまでいっぱいに引き出してから、そのまま持ち上げて取り出します。

⚠注意

■グリル水入れ皿の出し入れはゆっくり確実に

水平にゆっくり出し入れしてください。グリルとびらを持ち上げたまま引き出すと途中で止まらずに落下し、お湯がこぼれてやけどすることがあります。

ゆっくり確実に

■グリル水入れ皿だけを持って本体より取り外さない

グリルとびらが落下し、けがややけどをすることがあります。必ずグリルとびら取っ手を持って取り外してください。

禁止

■使用中、使用直後は器具栓つまみ、グリルとびら取っ手以外はさわらない

やけどをすることがあります。とくに幼いお子様がいるご家庭ではご注意ください。

接触禁止

各装置・電池交換サインについて 16

立消え安全装置

煮こぼれなどで火が消えると、ガスが自動的に止まります。

●立消え安全装置が作動したら

使用中、火が消えたときは？　すぐに器具栓つまみを回し「止」の位置に戻してください。

止　開

再点火するときは？　周囲にガスがなくなるまでしばらく待って、立消え安全装置（炎検知部）の汚れをふきとってからご使用ください。

（お願い）

・立消え安全装置（炎検知部）に水滴や煮こぼれがつくと、点火しにくくなったり、消火することがあります。なべの底についた水滴はふきとってから、ごとくの上にのせてください。（煮こぼれにも注意してください。）

・立消え安全装置（炎検知部）に固いものをぶつけないでください。まがったり、変形し点火しにくくなります。

立消え安全装置（炎検知部）

天ぷら油過熱防止機能（チャオバーナーのみ）

消し忘れ、来客対応などによる調理油の過熱を防止します。

●天ぷら油過熱防止機能が作動したら

使用中、火が消えたときは？　すぐに器具栓つまみを回し「止」の位置に戻してください。

止　開

再点火するときは？　なべや油が相当熱くなっていますのでやけどに十分注意して、水を入れたなべや水に浸した布などで温度センサーを冷やしてください。熱いなべをのせたまま、再点火すると消火する場合があります。

（アドバイス）

・ウィンナー、ポークソテー、ホイルのつつみ焼きなど、から焼きに近い料理は早切れすることがあります。火力を絞るか、なべの中央部などセンサーの位置に材料を置くと早切れを防ぐことができます。

・かきもち揚げなど高温で長時間使用する調理は、早切れすることがあります。

・野菜いためやチャーハンなど、なべをふる料理で、あまり長くふると早切れすることがあります。なべをふる時間を短くしてください。

電池交換サイン

乾電池の交換時期が近づくとお知らせする電池交換サインが付いています。点滅したら新しい乾電池を用意し、点灯に変わったら交換してください。（P11参照）

●点滅から点灯に変わるとチャオバーナーは使用できなくなりますので、乾電池を新しいものに交換してください。（ただし、標準バーナー・グリルバーナーは使用することができます。）

●電池交換サインは、チャオバーナーの器具栓つまみを回したときだけ作動します。他の器具栓つまみを回したとき、乾電池の容量が少なくなっていても点滅や点灯はしませんのでご注意ください。

●乾電池が正しくセットされていなかったり、乾電池に全く容量がなくなったときは、電池交換サインは点灯しません。この場合、ただちに乾電池を点検してください。

チャオバーナー用器具栓つまみ　点滅

17 お手入れのしかた

⚠警告

■点検・お手入れが必要なところ以外は絶対に分解したり、修理・改造は行わない

ガス漏れや事故の原因になります。

分解禁止

お願い
- 点検、お手入れの前には必ずガス栓を閉じ、機器が冷えてから行ってください。
- けがをしないように手袋などをはめて行ってください。
- 機器本体に水をかけたり、丸洗いしないでください。

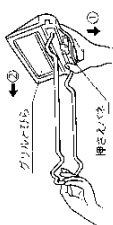
日常の点検

- 機器周辺に燃えやすいものが置いてありませんか
- バーナーキャップ、しる受け皿などは正しくセットされていますか
- グリル水入れ皿に脂がたまっていませんか
- ゴム管の接続は確実ですか
- ゴム管は傷んでいませんか
- 立消え安全装置が汚れていませんか
- バーナーが煮汁などでつまっていませんか

お手入れ

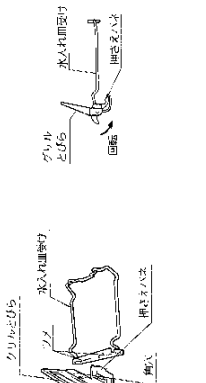
- 機器本体には安全に関する注意ラベルが貼付してあります。汚れたり読めなくなったときはやわらかい布などで汚れをふきとってください。また、お手入れの際にはがれないようにご注意ください。
  もしはがれたり読めなくなった場合は、お買い上げの販売店またはもよりの東京ガスで新しいラベルを再購入のうえ、貼り替えてください。

使って良いもの	使っていけないもの
やわらかい布、スポンジたわし、台所用中性洗剤	ナイロンたわし、亀の子たわし、金属たわし、ミガキ粉、酸性・アルカリ性洗剤、シンナ・ベンジン、クレンザー

機器本体・ごとく・しる受け皿・トッププレート

- 表面がよごれたらそのつど濡れぶきんでふきとってください。
- 汚れのひどいとき
  中性洗剤を含ませたスポンジたわし・やわらかい布でお手入れし最後に乾いた布でふきとります。
- 汚れが落ちないとき
  中性洗剤で汚れた部分を湿らせておき、お手入れした後水洗いし乾いた布でふきとります。

グリル水入れ皿・グリルとびら・水入れ皿受け

中性洗剤で洗って乾いた布で水気をふきとってください。

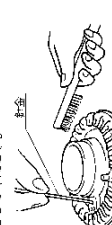
取り外しかた

①押さえバネを↓①の方向に下げる。
②グリルとびらを←②の方向にたおす。

取り付けかた

①水入れ皿受けのツメ2ヵ所をグリルとびらの角穴にはめ込む。

②↘の方向にグリルとびらを回転させる。
押さえバネが水入れ皿受けに確実にはまっているか確認する。

③水入れ皿受けの凸部をグリル水入れ皿の長穴に入れてセットします。

バーナーキャップ

炎が不ぞろいになったときは炎口をブラシや針金などで掃除し汚れを落としてください。

⚠注意

■バーナーキャップを水洗いしたときは水気をじゅうぶん切ってからセットする

炎口が詰まったまま使用すると異常燃焼の原因になります。

水気を切る

お願い
- 掃除後は正しくセットし、正常に燃焼することを確認してください。(P10参照)
- バーナーキャップの黒い部分(炎口は除く)は中性洗剤、スポンジたわしで洗ってください。中性洗剤以外の洗剤やかたいものでお手入れするとはがれることがあります。万一、黒い部分がはがれても使用にさしつかえありません。そのままご使用いただけます。

19 お手入れのしかた

立消え安全装置

炎検知部に汚れがこびりついている場合は歯ブラシなどの柔らかいブラシでよごれを落としてください。

お願い かたいブラシなどで決してみがかないでください。故障の原因となります。

温度センサー

温度センサーの頭部についた煮汁やゴミは、布を水に浸し固くしぼってからふきとってください。

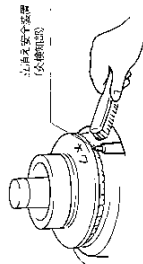
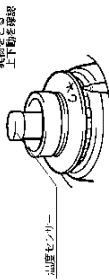
⚠注意

■温度センサーは、上下にスムーズに動くことを確認する

なべ底と密着しなくなり調理油が発火する場合があります。

異物をとる 上下動を確認

温度センサー

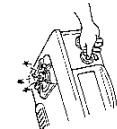
長期間使用しない場合

- お部屋のガス栓を必ず閉めてください。
- 乾電池を外しておく。
- お手入れをしておくと、次回使用するときに便利です。

故障かな?と思ったら 20

⚠警告 使用中に異常を感じたときはすぐに使用を中止する
あわてずガス栓を閉めてください。

調べてみると故障でない場合がよくあります。修理を依頼する前に、もう一度チェックしてください。

現象		原因	処置	参照ページ
点火しない		ガス栓の開き忘れ	お部屋のガス栓を全開にしてください。	P12
		バーナーキャップの取付不良	正しくセットしてください。	P10
	温度センサー付バーナー	乾電池が入っていないまたは正しくセットされていない	正しくセットしてください。	P11
		電池ケースが確実に差し込まれていない	確実にセットしてください。	P11
		温度センサーが高温になっている	温度センサーを冷やしてください。	P16
		温度センサーの不良	点検修理を依頼してください。	−
点火しにくい		ガス栓の開き不十分	お部屋のガス栓を全開にしてください。	P12
		配管中に空気が残っている	点火操作をくり返してください。 ※はじめての場合は点火するまでしばらく時間がかかります。	P20
		ゴム管の折れ曲がり、つぶれ	ゴム管の折れ曲がり、つぶれを直す。	P11
		バーナーキャップの取付不良	正しくセットしてください。	P10
		バーナーキャップ炎口づまり	炎口を掃除してください。	P18
		乾電池の消耗	新しい乾電池と交換してください。	P11
点火後しばらくして消火する(温度センサー付バーナー)		温度センサーが高温になっている	温度センサーを冷やしてください。	P16
		温度センサーの不良	点検修理を依頼してください。	-
異常音をたてて燃える		バーナーキャップの取付不良	正しくセットしてください。	P10
爆発的に点火する		バーナーキャップの取付不良	正しくセットしてください。	P10
使用中消火しやすい		立消え安全装置部分の汚れ	立消え安全装置を掃除してください。	P19
黄炎で燃える		バーナーキャップの炎口つまり	炎口を掃除してください。	P18
炎が安定しない		バーナーキャップの取付不良	正しくセットしてください。	P10
調理中に消火する(温度センサー付バーナー)		使用なべの形状、材質が適していない	チャオバーナー(天ぷら油過熱防止機能付)の使いかたを参照してください。	P13・14

●異常のあるときやおわかりにならないときには、お買い上げの販売店またはもよりの東京ガスにご連絡ください。不完全な処理は事故のもとになります。

こんなときは異常ではありません

●点火しにくい
朝一番で使用したときや、はじめて使用するときは、ゴム管内に空気が入っていて点火しにくいことがあります。点火操作を繰り返してください。

●消火のとき、音がする
消火時に「ボン」という音がすることがありますが、これは火が消えたときの音で異常ではありません。

21 アフターサービス

●修理を依頼されるときは	『故障かな？と思ったら』の項をご確認いただいても直らない場合、あるいはよくわからない場合は、お買い上げの販売店、またはもよりの東京ガスにご連絡ください。修理依頼の際は、次のことをお知らせください。 (1) お名前・ご住所・電話番号・道順(付近の目印等) (2) 品名…RN-A024-HLA　機器コード…1676884 　　　　RN-A024-HRA　機器コード…1678883 (3) 現象…点火しないなどできるだけ詳しく (4) 訪問ご希望日
●保証について	取扱説明書のP22が保証書になっています。必ず「販売店、お買い上げ日」などの記入をお確かめいただき、保証内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。無料修理期間経過後の故障修理については、故障修理によって機能が維持できるときは、有料で修理いたします。(保証期間は、お買い上げ日から1年間です。ただし一般家庭以外で使用される場合は除きます。)
●補修用性能部品の最低保有期間について	補修用性能部品最低保有期間は、当製品の製造打切後5年間となっています。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です)
●転居されるとき	ガスには都市ガス13種類およびLPガスの区分があります。ガスの種類(ガスグループ)が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、もよりの東京ガスまたは転居先のガス事業者にご相談ください。この場合、保証期間内でも、調整・改造に要する費用は有料となります。
●アフターサービスなどについてわからないとき	お買い上げの販売店、またはもよりの東京ガスにご連絡ください。裏表紙の事業所一覧表を参照してください。

仕様

品名	RN-A024-HLA	RN-A024-HRA
形式の呼び	RTS-330GASH-L	RTS-330GASH-R
種類	ガステーブル	
点火方式	圧電点火式	
外形寸法	高さ213.5mm×幅594mm×奥行448mm	
質量(本体)	10.5kg	
ガス接続	9.5mmφガス用ゴム管	
安全装置	立消え安全装置、天ぷら油過熱防止機能(チャイバーナーのみ)	
付属品	単1形乾電池(2個)、取扱説明書(保証書付)	

使用ガス	使用ガスグループ		1時間当たりのガス消費量 個別ガス消費量 強火力バーナー	標準バーナー	グリル	全点火時ガス消費量
都市ガス	12	A	4.30kW (3700kcal/h)	2.50kW (2150kcal/h)	2.03kW (1750kcal/h)	8.60kW (7400kcal/h)
都市ガス	13	A	4.65kW (4000kcal/h)	2.67kW (2300kcal/h)	2.15kW (1850kcal/h)	9.30kW (8000kcal/h)

保証書 22

保　証　書

型式名 RTS-330GASH-L / RTS-330GASH-R　品名 RN-A024-HLA・RN-A024-HRAガステーブル

上記、機器をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は東京ガス供給区域内において都市ガス用としてご使用になる場合、本証書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

(1)保証期間はお買い上げの日から1年間とし機器本体を対象とします。付属品は対象外です。
(2)万一故障の場合はお買い上げの店、もしくはもよりの東京ガスへお申し出ください。
(3)サービス員が参上した時に本証書をお示しください。
(4)保証期間中でありましても、次の場合には有料修理といたします。
(イ)取扱説明書によらないでご使用になり故障した場合。
(ロ)お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷。
(ハ)火災、天災、地変等による故障、その他不可抗力による故障。
(ニ)お買い上げの店、あるいは東京ガスに、ご連絡なしに改造された場合の故障。
(ホ)機器に表示してある以外のガスでご使用のため改造される場合。ただし当社都合の場合はのぞきます。
(ヘ)本証書を紛失された場合。
(5)無料修理などアフターサービスについて、ご不明の場合はお買い上げの店または取扱説明書に記載してあるもよりの東京ガス支社、営業所にお問い合せください。

保証履行者　東京ガス株式会社　〒105　東京都港区海岸1－5の20
電話　代表　03(3433)2111

保証責任者　リンナイ株式会社　〒454　名古屋市中川区福住町2番26号
電話　代表　052(361)8211

■修理記録

年月日	修理内容	サービス員印

■お買上日及び販売店名

お買上日	平成　年　月　日	
販売店名		取扱者印
住所		
電話番号		

お客様へ

1. この保証書をお受け取りになる時に、お買い上げ日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。
2. 本証書は再発行いたしませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
3. 無料修理期間経過後の故障修理につきましては、取扱説明書をご覧ください。
4. この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。